

# 看護系大学のカリキュラムに関する検討 第1報

—専門基礎に相当する教科目—

小田和美・磯本暁子・井上理子\*・奥井幸子

**要旨** 1995年6月現在開学されていた看護系大学40校のうち30校について、専門基礎に相当する教科目を、基礎医学系、応用医学系、保健医療福祉系、人間学系の4群の教科目に分類した。それらの教科目の特徴を、看護大学全体ならびに3群（看護大学・看護学部、医学部看護学科・看護学専攻、保健医療福祉系学部看護系学科）の設置形態別に分析し、以下の知見を得た。

①看護大学・看護学部は、1960年代から80年代に4校が開学していたが、医学部、保健医療福祉系学部では、全て1992年以降の開学であった。②看護大学・看護学部は公立と私立は約半数ずつであったが、医学部は国立が8校、保健医療福祉系学部は私立が7校と多かった。③基礎医学系教科目群は、医学モデルに基づく伝統的なカリキュラム構成の大学が過半数であったが、複合科目を開講するなど工夫もみられた。特に、看護大学・看護学部において、枠組みを改変した独自のカリキュラムへの取り組みがうかがえた。④応用医学系教科目群では、設置形態による特徴はあまりなかったが、疾病論／診断学治療学については医学部に多く、主に従来の発達段階や分野別に構成されていた。⑤保健医療福祉系教科目群では様々な教科目が開講されており、特に保健医療福祉系大学に多種の教科目が開講されていた。⑥人間学系教科目群は、看護大学・看護学部によく開講されていた。⑦指定規則に定められた教科目のうち、基礎医学系教科目、公衆衛生学、疫学以外の教科目は、多くが再構成されていた。

**キーワード：**看護教育、学部カリキュラム、専門基礎教科目

## I. はじめに

1997年のカリキュラム改訂および本学の学年進行終了にともない、特色あるカリキュラムづくりを目的として、検討を行った。

本調査は、その基礎資料として、1996年以前の看護系大学カリキュラムについてレビューすることを目的としている。専門基礎に相当する教科目について、どのような教科目が開講され、どのような位置づけにあるかを看護系大学全体の傾向と設置形態別にまとめ、現状を明らかにすることにある。

## II. 研究方法

1995年6月現在に開学されていた40校のうち、グループⅠ（看護大学・看護学部）、グループⅡ（医学部看護学科・看護学専攻）、グループⅢ（保健医療福祉系学部看護学科）35校を対象とした。学部長

・学科長などに資料送付を依頼するとともに、文献収集をおこなった。資料が得られた31校のうち、分析可能な30校を調査対象とした。

30校の全ての教科目のなかから、基礎科目（一般教養）、専門科目に相当するものを除いた。専門科目は、教科目名に「看護」「援助」「ケア」の文字を含み、それらが中心概念であると思われる教科目とした。教科目の分類にあたっては、科目名とそれらの科目の各大学カリキュラムにおける位置づけを参考にした。また、入手できた大学については授業概要も参考にした。

上記により専門基礎に相当する教科目を抽出した。これらを、基礎医学系教科目群、応用医学系教科目群、保健医療福祉系教科目群、人間学系教科目群の4群に分類した。

基礎医学系教科目群は、指定規則第7条に定められた専門基礎科目のなかの解剖生理学、生化学、栄

養学, 薬理学, 病理学, 微生物学に加えて, 解剖学, 生理学, 免疫学, 代謝学, 食品学と, それらについての演習・実習科目とした。ここでは, 各教科目を教授される内容によって分類し, 伝統的な教科目名か, 教科目の構成はどうかという点に着目して分析をおこなった。

応用医学系教科目群は, 上記に分類されたものを除いた医学系教科目とした。教科目名に「医学」の文字を含んでいるものはすべてこの群に分類した。

保健医療福祉系教科目群は, 指定規則第7条に定められた専門基礎科目のうち公衆衛生学, 社会福祉, 関係法規と, 同第5条に定められた地区活動論, 健康教育論, 疫学, 健康管理論, 保健福祉行政論と, 教科目名に「保健」「健康」「医療」「福祉」などの文字を含む教科目とした。

人間学系教科目群は, 人間や, 人間と社会との関係を理解するための教科目とした。

### Ⅲ. 結果

#### 1. 対象の概要

分析したのは, 看護系大学全体の75.0%で, 分析対象となった大学の85.7%であった。

設置主体をみると, 国立10校, 公立6校, 私立14校で, グループ別に内訳をみると, グループⅠは国立1校, 公立4校, 私立5校, グループⅡは国立8校, 私立2校, グループⅢは公立3校, 私立7校であった。

開学年度は, 1964年1校, 1975年1校, 1986年2校, 1992年3校, 1993年6校, 1994年8校, 1995年9校であった。グループⅠでは, 1960年代から80年代に4校, 90年代になって6校が開学していた。グループⅡ, Ⅲでは, すべての大学が1992年以降の開学であった。設置主体別にみると, 国立は1975年に1校開学した以降は1992年まで開学されなかった。公立は全て1993年以降の開学であった。私立では1964年1校, 1986年2校開学し, それ以外は1992年

表1. 基礎医学系教科目群

グループと大学記号		I	II	III
授業内容 教科目名		A B C D E F G H I J	A B C D E F G H I J	A B C D E F G H I J
解剖学	解剖学	1 1	1 1 1	1 1 1 1
	その他の教科目名	1 1	1 1 1	1 1 1
生理学	生理学	1 1	1 1 1	1 1 1 1 1
	その他の教科目名	1 1	1 1 2	1 1
生化学	生化学	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	その他の教科目名		1	
栄養学	栄養学	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	その他の教科目名	1	1 1	1 1 1
薬理学	薬理学	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	その他の教科目名	1 1	1 1	1
病理学	病理学	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	② ② ○ ○ ○ ○ ○ ②
	その他の教科目名	1 1	1 1	1
微生物学	微生物学	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ③
	その他の教科目名	1 1	1 1	1
免疫学	免疫学		1	1 1 1
	その他の教科目名		1 1	
解剖生理学	解剖生理学	○	○	④
	その他の教科目名	3 2 1 1	1 2	1 2
その他の複合科目		3 4 2 2 8 3	3 1 1	2 4 1 3
実験・演習		3 4 2 3 3	1 1 5 5	

教科目名の網掛けは「保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則」に定められた教科目

表中の○印は「指定規則」に定められ教科目で1科目開講されているもの

○付き数字は「指定規則」に定められた教科目名で複数開講されている教科目数  
数字は「指定規則」に定められた教科目名で開講されていない教科目数

以降の開学であった。

全大学で保健婦の受験資格が得られ、うち必修は24校であった。助産婦免許受験資格が得られる大学は、グループⅠで7校、グループⅡで4校、グループⅢで5校の計16校で、全て選択であった。高校教諭（看護）一種免許が得られる大学は3校で、養護教諭一種免許は5校であった。

## 2. 基礎医学系教科目群の傾向

基礎医学系教科目を表1に示した。

生理学、栄養学、薬理学、病理学、微生物学は、20校以上の大学で開講されており、その教科目名も伝統的なものが多かった。また、その他の教科目名も、内容を推測できるものが多かった。

解剖学、生理学も、開講されている大学が多かったが、上記教科目と比較すると、単独の科目としてよりも解剖学、生理学および他の教科目と組み合わせた複合科目として開講されていた。解剖学は「人間形態学」「看護形態機能論」「人体構造学」「生体

形態学」「形態機能学」、生理学は「人間機能学」「看護形態機能論」「生理機能学」「生体機能学」「形態機能学」など教科目名に工夫がみられた。

複合科目は、解剖学と生理学が最も多く、「解剖生理学」の他、「形態機能学」「看護生理学」「生態機能学」「機能形態学」「生体機構学」などの教科目名で開講されていた。解剖学・生理学以外の教科目の複合科目も多く、「心身機構論」「人体機構論」「人体の構造と機能」「看護形態機能論」「病態生理論」「病態学」「生物学的環境論」など、組み合わせや教科目名に工夫がみられた。

基礎医学系教科目の構成をみると、全体を医学モデルに基づく伝統的枠組みで構成した大学と、全体の枠組みを改変し教科目を再構成した独自の大学の、2パターンがみられた。グループⅡ、Ⅲでは、伝統的なものが大半であったが、グループⅠは枠組みを改変した独自のものが多かった。

基礎医学系教科目の実験／演習は、他グループと比較してグループⅠに多く開講され、グループⅢで

表2. 応用医学系教科目群

グループと大学記号		Ⅰ										Ⅱ										Ⅲ									
授業内容 教科目名		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
医学論系	医学概論	○										○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	その他の教科目名										1		1	1	1	2						1									
遺伝学系	遺伝学／遺伝科学	1										1	1							1											
	その他の教科目名										1	1										1	1	1							
生命科学系	生命科学／ライフサイエンス	1	1	1																											
	その他の教科目名	1									1		3	1								1									1
臨床検査学系					1	1																									1
言語治療学系																						1	1								
救急医学／予後管理学系						1										2									1	1	1				
放射線医学／画像診断学系						1						1		1	1							1								1	
スポーツ医学／リハビリテーション医学系					2	1										1						1			1					1	
行動医学／心身医学系																1						1									
社会医学系																						2									
予防医学系																														1	
疾病論／診断治療学系	分野なし／全分野		4						1	2		1	2	1	1							1							5		
	成人系	分野なし										2																			
		内科系								1		1	1	1																1	
		外科系								1		1	1	1																	
	母子系	母性系								1		1	1	1	1																
		小児系								1		1	1	1	1																
	精神系									1	1	1	1	1																	
	老人系									1		1	1	1	1																
	実習																														

注：表1と同じ

は開講されている大学はみられなかった。

「看護薬理学」「看護形態機能論」など「看護」の名称がついている教科目もみられた。

### 3. 応用医学系教科目群の傾向

応用医学系教科目を表2に示した。

半数以上の大学で開講されている教科目は医学論系のみ(20校)であったが、グループⅠは4校と少なかった。「医学概論」以外の教科目名は、「医療科学概論」「医学入門」「医学総論」「医療概論」「医学／医療史」などであった。

10校以上の大学で開講されている教科目は、遺伝学系(10校)、生命科学系(12校)、疾病論／診断治療学系(14校)の3分野であった。遺伝学系、生命科学系は各グループほぼ同程度開講されていたが、疾病論／診断治療学系はグループⅡに最も多く開講されていた。疾病論／診断治療学系教科目は、主に従来の発達段階や分野別に構成されており、他は、「疾病論」「心身機構論」「診断と治療」「臨床医学序説」「病態論」「診断学総論」「臨床診断学」「臨床診断・治療学」などの名称であった。

その他の教科目が開講されている大学は少なく、グループ差もなかった。

### 4. 保健医療福祉系教科目群の傾向

保健医療福祉系教科目を表3-1, 2に示した。

この群として、多種類の教科目が開講されていた。

ほとんどの大学で開講されていた教科目は、情報学系(28校)であった。衛生学系(18校)はグループⅠで少なかったが、疫学(19校)、保健学(11校)を加えると、ほぼ全大学で開講されていた。これらの教科目は、「衛生学」「基礎保健学」「保健学原論」「保健学概論」「保健学総論」などの教科目名で開講されていた。また、社会福祉／社会保障系も24校と多くの大学で開講されていたが、さらに医療福祉／保健福祉学系7校を加えると、ほぼ全大学で開講されていた。

その他、環境論系(22校)、保健／医療法規行政系(16校)が半数以上で開講されていた。保健／医療法規行政系はグループⅡで多く開講されていた。

10校以上で開講されている教科目は、保健統計学／保健情報学系(13校)、精神保健学系(11校)、健康スポーツ系(13校)、人間工学系(11校)、健康科

学系(10校)、健康管理系(10校)、保健／保健医療福祉行政系(12校)であった。健康科学系、保健／医療福祉行政系はグループⅢに多い傾向があった。

また、医用工学系、リハビリテーション系もグループⅢに集中して開講されていた。

開講している大学は少ないがグループで特徴のあったものをみると、対象領域あるいは発達段階による保健学系教科目は、グループⅠにほとんど開講されていなかった。また、国際系教科目名を開講している大学は少なかったが、グループⅠ、グループⅡは国際保健／医療系が、グループⅢは国際福祉系教科目が開講されていた。

領域別の福祉系教科目も開講している大学は少なく、グループの特徴もなかったが、他の領域と比較すると、老人福祉系が多く開講されていた。

この群を全体的にみると、グループⅢに多く開講されていた。

### 5. 人間系教科目群のカリキュラムの傾向

人間系教科目を表4に示した。

半数以上の大学で開講されている教科目は、臨床心理学系(19校)、家族学系(18校)、人類学系(16校)で、家族学系、人類学系はグループⅠに多く開講されていた。家族学系は、「家族論」「家族学」「家族関係論」「家族社会学」「家族心理学」「家族と福祉の社会学」などの教科目名で、人類学系は、「文化人類学」の他、「人間学(異文化と看護)」「自然人類学」「社会人類学」などの教科目名で開講されていた。

その他10校以上で開講されているものは、人間学系(13校)、人間関係学系(11校)、人間発達学系(10校)、発達心理学系(11校)、生命倫理系(11校)であった。人間学系では、「人間学」「人間論」「人間性の心理学」「人間科学」「総合人間学概論」「心と身体」「生と死」などの教科目名で開講されており、グループⅢに多かった。人間学系、人間関係学系、人間発達学系、発達心理学系、精神発達／精神機能学系教科目をあわせると25校となり、多くの大学が人間についての教科目を開講していることがわかった。また、生命倫理系は「バイオエシックス」「生命倫理学」などの教科目名でグループⅢに多く開講されていた。

その他、グループで特徴のみられた教科目は、カ



表3-1. 保健医療福祉系教科目群 (その1)

グループと大学記号			I	II	III
授業内容 教科目名			A B C D E F G H I J	A B C D E F G H I J	A B C D E F G H I J
衛生学系	公衆衛生学		○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	その他の教科目名		1		1 1
疫学系	疫学		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	その他の教科目名				1 1
保健学系			3 2 1	1 2 2 1 1	1 1 1
保健学系実習・演習				1 1	
環境学系	講義		1 4 1 1 1 1 4 1	1 2 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 2
	実習・演習		1		
情報学系	講義		1 2 1 1 1 1 2 1 1	3 1 1 1 1 2 1 1 2 1	1 2 2 1 2 1 2 1 2
	実習・演習				1 1 1 1
保健統計学／保健情報学系			1 1 1 1 2 2	1 1 1 1	1 1 1
人口論系				1	
地域保健学系	地区活動論			○	○ ○ ○
	地区活動論実習				○
	地域保健学		1	2	1
	その他の教科目名			3 1	
成人保健学系	成人保健				○ ○
	その他の教科目名			1	
老人保健学系	老人保健				○ ○
	その他の教科目名			1	
成人老人系保健学系					1
母子保健学系	母性保健				○ ○
	その他の教科目名			1	
	小児保健				○ ○
	その他の教科目名			1	
	地域母子保健				○
	地域母子保健実習				○
精神保健学系	その他の母子保健系		2 1 1	3	1
	精神保健			○	○ ③
精神保健学系	その他の教科目名		2 1 1	1 1 3	2 1
学校保健学系			2 1	1 1 1	2 2
職業／産業保健学系				1 1 1 2	1 1
健康スポーツ系	講義		1 1	1 1 1 1	1 1 1 1
	実習・演習		1 1 1	2	1 1 1 2
人間工学系	人間工学		1 1 1	1 1 1	1 1
	その他の教科目名			1 1	1
医用工学系			1		1 1 1 1 1 1
健康科学系	講義		3 2 2	1 1	2 2 1 1 2
	実習・演習				1
健康管理系	健康管理論		○ ○	○ ○	○ ② ○ ○
	その他の教科目名		1	1	
健康教育系	健康教育論		○	○ ○	② ○
	その他の教科目名		1	1	1

注：表1と同じ

表3-2. 保健医療福祉系教科目群 (その2)

グループと大学記号		I	II	III
授業内容 教科目名		A B C D E F G H I J	A B C D E F G H I J	A B C D E F G H I J
保健指導系	保健指導総論		○	○
	保健指導各論		○	○
	その他の教科目名		1	2
その他の指導／療法系	栄養療法系			4
	生活療法系		1	
	食生活療法系	1		
	運動療法系	1	1	
	性教育論		1	
	その他の他の療法系			2
保健／医療行動学系		1	1	1
保健／医療法規行政系	法規 関係法規		○	○ ○ ○
	系 その他の教科目名	1 1 1	1 1 1	1
	行政系	1 1	1 1 1 1 1	
	法規行政系			1
保健／医療社会学系		1 1	1	1 1
保健／医療倫理学系		1	1	
保健／医療人類学		1		1
保健／医療論系			1	1
保健／医療管理経済学系		1 1 1 1	1 1 1	2
保健／医療システム論系			1	1 1
リハビリテーション系				1 1 1 2 1 2
その他の保健／医療系のトピックス	チーム医療系		1	1
	ホスピス系			1
	スクリーニング系		1	
	ボランティア系			1 1
国際保健／医療系		1 1	1 1 1	
社会福祉／社会保障系	社会福祉		○ ○	○
	その他の教科目名	1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1
医療福祉／保健福祉系	医療福祉系	2		1 1
	保健福祉系		1	1
	保健医療福祉系	1		2
その他の福祉系	地域福祉系	1		1 1
	老人福祉系	1 1	1 1	1 1
	児童福祉系	1		1
障害者／児系	障害者／児福祉系	1		1
	他の障害者系	1	1	1
ケースマネジメント論系				1
健康／医療福祉行政系	健康福祉系		1	
	医療福祉系	1		1
保健／医療福祉行政系	保健福祉行政論	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○
	他の保健福祉系			1 1
	保健医療福祉系	2		1
国際福祉系				1 1 1

注：表1と同じ

ウンセリング系の教科目で、グループⅠに多く開講されていた。

ユニークな教科目として、現代社会と人間学系では、「現代社会論」「社会問題論」「情報化社会と人間」「文化・社会論」「科学技術と社会」「法と現代社会」「現代社会と人間」「科学技術と人間」「人と社会」「社会病理学」などが開講されていた。また、現代のトピックス教科目では、「スポーツ・余暇論」

「リクリエイション概論」「クオリティ・オブ・ライフ論」「インフォームド・コンセント論」「セクシュアリティ」「身体言語論」「高齢者社会概論」「ヒューマンエコロジー論」などが開講されていた。

各論の心理学系教科目には、「病態心理学」「母性心理学」「母子関係論」「生物心理学」「患者の心理学」「老人心理学」「心身障害の心理学」「社会心理学」などユニークな教科目があり、開講している大

表4. 人間系教科目群

グループと大学記号 授業内容 教科目名		Ⅰ										Ⅱ										Ⅲ									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
人間学系		2			1					4	1				1							1	1	1	1	2	1	1	1		
人間関係学系	人間関係論								1		1	1	1	1	1	1									1						
	その他の教科目名	1		2																		1									
人間発達学系	人間発達学			1								1	1			1						1	2			1					
	その他の教科目名	1							1															1							
発達心理学系	発達心理学	1				1			1	1	1				1							1				1					
	その他の教科目名				1							1										1				1					
精神発達／精神機能学系				2								1				1															
臨床心理学系	臨床心理学	2	1	1				1	1	1			1	1	1		1	1				1	1			1	1	1			
	その他の教科目名							1							1													2			
コミュニケーション系		2	1											1			1					3		1	5						
カウンセリング系			1	1				1	1	1																	1	1			
ストレス系																						1									
病態・患者心理学系												1															1				
母子心理学系	母性の心理・社会学																														○
	その他の教科目名													1		2															
老人心理学系																										1					
障害心理学系																										1					
生物・社会心理学系									1							1															
教育学系	教育心理学			1						2															1						
	その他の教科目									1						1									4						
行動科学系			1									1	1	1								1	1								
認知科学系			1																												
グループダイナミックス系										1																					
家族学系	家族論系	1								2																					
	家族関係論					1			1													1			1	1	1				
	家族社会学	2	1	1			1	1	1	1			1	1	1																
	家族心理学								1																						
	その他の教科目																					1									
特性論系			4																												
人類学系	文化人類学	1	1	1			1	1	1	1		2			1	1					1	1			1	1	1				
	その他の教科目	1	1		1		1								2														1		
生命倫理系		1	1	1								1	1									1	1	1	1		1	1			
生活科学・生涯教育				2	1																										
現代社会と人間学系			1							1		1		1		1	1	1				2		1		1					
現代のトピックス教科目			1							1		1		2	1									1	1	2					

注：表1と同じ

表5. 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則に定められた教科目名で開講されている教科目

グループと大学記号 指定規則に 定められた教科目名		I										II										III											
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		
第7条（看護婦学校関係）専門基礎科目	医学概論				○			○		○			○	○	○						○		○	○	○	○		○	○		○	○	
	解剖生理学						○														○										④		
	生化学		○	○			○		○	○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
	栄養学			○	○				○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○				○	
	薬理学		○	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病理学			○	○				○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	②	②	○		○	○	○	○	○	②	
	微生物学			○	○			○				○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	③	
	公衆衛生学			○					○	○		○	○			○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会福祉									○											○	○			○								
	関係法規																				○			○							○	○	
	精神保健																				○				○						③		
第7条（看護婦学校関係）専門科目	成人保健																								○						○		
	老人保健																									○						○	
	母性保健																										○					○	
	小児保健																										○					○	
第5条（保健婦学校関係）公衆衛生看護学	地区活動論																				○					○	○				○		
	地区活動論実習																															○	
	健康教育論										○					○		○		②							○						
	保健指導総論																				○				○								
	保健指導各論																					○				○							
第5条（保健婦学校関係）	疫学						○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○		○	○			○	○	
	健康管理論						○			○			○								○		○	②	○						○		
	保健福祉行政論							○	○	○			○								○		○		○						○		
第6条（助産婦学校関係）	母性の心理・社会学																															○	
	地域母子保健																															○	
	地域母子保健実習																															○	

表中の網掛けは助産婦国家試験受験資格習得のための教科目が開講されている大学

表中の○印は1科目開講されているもの

○付き数字は複数開講されている教科目

学は少ないが数校に集中していた。

この群を全体的にみると、グループⅠに多く開講されていた。

#### 6. 保健婦助産婦看護婦養成所指定規則に定められた教科目とカリキュラムの関係

指定規則に定められた教科目名で開講されている教科目を表5に示した。

全体的にみると、半数以上の大学で開講されている教科目は、第7条（看護婦学校関係）専門基礎科目における「医学概論」「生化学」「栄養学」「薬理学」「病理学」「微生物学」「公衆衛生学」と、第5条（保健婦学校関係）公衆衛生看護学以外の教科目

「疫学」であった。

その他の教科目については、指定規則の教科目名で開講されているものは少なく、特に、第7条（看護婦学校関係）専門科目、第6条（助産婦学校関係）が開講されているのは、グループⅢのF、Jのみであった。その他の教科目も、グループⅠに少なくグループⅢに多い傾向があった。

#### Ⅳ. 考察

1992年以降の看護系大学のめざましい増加の背景には、高齢社会の到来や医療の高度化という社会的ニーズと、高学歴かつ実学指向という現代学生のニーズに対応したことが考えられる。また、看護職

の学習意欲が向上している現状を、社会人入学や、短大卒業生の3年次編入卒の増設が物語っている。多くの大学は保健婦免許受験資格取得を必修としている。これは、単に看護婦養成の3年に保健婦養成の1年を積み重ねた4年間の教育ではないという姿勢で、あらゆる健康レベル、場面における個人と集団を対象とした教育を4年間の一貫したカリキュラムで行っているということである。

専門基礎に相当する教科目を全体的にみると、医学の分野（基礎医学系、応用医学系）については、従来の医学モデルによるカリキュラム構成がなされているようであった。しかし、看護大学・看護学部には、医学モデルからの脱却をはかろうとする大学が多いことや、人間学系教科目が多く開講されていることは、このグループが看護学独自のカリキュラム作成に最も取り組んでいるのではないかと考えられた。その理由としては、開学年度が早く試行錯誤を繰り返していること、組織が大きいことから看護系教員が充実していることが考えられる。一方、保健医療福祉系学部において、医学モデルが用いられる傾向があることや、保健医療福祉系教科目が多く開講されていることは、これらの大学が人材やカリキュラムをその大学形態に依存しているところが大きいと考えられる。これは、多様性という点からは利点ともいえるが、独自性を発揮しようとするときの妨げとなり、一層の努力を必要とするかもしれない。

指定規則で定められた教科目名で開講されているものは医学系教科目のみで、その他の教科目は指定規則で構成された教科目名では開講されていない。大学教育は、始まったばかりで、各大学が独自のカリキュラムを模索している状態にあるといえるだろう。カリキュラムを詳細にみると、教科目の改変や名称の工夫などが随所にみられている。看護の理念に基づき、もう一步進んで、カリキュラム全体の枠組みを再構成し、独自のものを創り上げている大学もある。これらは、看護の大学教育の発展を実証している。

1997年のカリキュラム改訂による大綱化により、大学独自のカリキュラムを組み立てることができるようになった。今後は、各大学の看護や教育の理念がカリキュラムに反映されるようになり、各大学間のカリキュラムの差異が明確になってくるものと思われる。

## V. 本分析の限界

本分析は入手できた資料のみ使用しており、授業概要が得られたものを参考にして教科目名と内容を確認しつつ分析を行った。しかし、授業概要が得られなかった大学では、教科目名とカリキュラムの一覧表における位置からその内容を推測し分類した。そのため、実際の内容が本分析とそぐわない危険性がある。

また、多学部を擁する総合大学は、教養系に分類される教科目の資料が不十分であったために、開講されているにもかかわらず開講されていない結果となっている可能性もある。

## VI. おわりに

今回の分析は、専門基礎に相当する教科目について行った。分析を行っていない看護の専門教科目は、専門基礎教科目以上に各大学の理念を反映するので、より興味深い結果がでるものと推測される。

1997年のカリキュラム改訂により、各大学が独自性を発揮し、新しい看護の枠組みの開発を促進し、看護大学教育を本格化することが期待される。

## 謝 辞

資料を快く送付してくださった看護系大学の皆様に深謝いたします。

本研究は、平成7年度岡山県立大学特別研究によって行われたものの一部である。

## 文 献

- 平山朝子(1995). 千葉大学看護学部その1・学部の概要と看護学科の教育課程. *Quality Nursing*, 1(2): 74-79.
- 佐藤禮子(1994). 将来、指導的役割を担う人材の育成. *看護教育*, 35(10): 744-746.
- 服部朝子, 近澤範子, 南裕子(1994). 兵庫県立看護大学開学の背景とカリキュラム構築の概要. *看護教育*, 35(2): 130-138.
- 栗原知女(1993). 兵庫県立看護大学の場合1993年4月開校-こうして4月開校を迎えました. *看護*, 45(7): 6-25.
- 氏家幸子(1994). 審議会答申から21年目に実現した公立大学の新設-大阪府立看護大学の開設準備過程. *看護教*

- 育, 35(10):763-767.
- 菱沼典子, 小島操子(1995). さらに魅力あるカリキュラムの開発に向けて—「聖路加看護大学」の教育理念と目標. *Quality Nursing*, 1(2):38-44.
  - 森まさ子(1993). 日本赤十字看護大学(1986年4月開設)—「人道」の理念を培う教育. *看護*, 45(7):140-148.
  - 山本昇(1995). 総合大学の特色を生かすカリキュラム. *Quality Nursing*, 1(1):33-39.
  - 深瀬須加子(1993). 北里大学看護学部(1986年4月開設)—カリフォルニア大学との交流が魅力. *看護*, 45(7):150-158.
  - 栗原知女(1993). 聖隷クリストファー看護大学(1992年4月開校)の場合—認可申請に提出した書類, 数十箱. *看護*, 45(7):26-44.
  - 吉田時子, 丸川和子(1994). 「隣人愛」を基本とする教育. *看護教育*, 35(10):754-756.
  - 丸川知子(1992). 聖隷クリストファー看護大学看護学部看護学科. *看護教育*, 33(8):610-611.
  - 木場富喜(1995). 豊かな人間性を基本とした看護職育成をめざして. *Quality Nursing*, 1(2):10-15.
  - 千葉ヒロ子(1995). 専門教育を支える基礎科目をより豊かに—「山形大学医学部看護学科」のカリキュラム編成過程. *Quality Nursing*, 1(2):24-28.
  - 千葉ヒロ子, 外崎昭, 加藤宏司, 高橋芳子(1994). ユニークな看護基礎科目の紹介. *看護教育*, 35(10):741-743.
  - 神郡博(1995). 人間理解と心の看護を重視—「富山医科大学医学部看護学科」カリキュラムの特徴. *Quality Nursing*, 1(1):50-55.
  - 竹尾恵子(1995). 大学における看護教育がめざすもの—「滋賀医科大学看護学科」のカリキュラム展開. *Quality Nursing*, 1(2):29-33.
  - 前田和美, 野崎香野, 矢本美子(1995). 全人的医療に対応できる人材の育成—「神戸大学医学部保健学科」の基本構想. *Quality Nursing*, 1(1):40-44.
  - 町田トシエ, 豊澤英子, 萩澤さつえ(1994). 厳しい経費での国立大学の学科新設—大分医科大学医学部看護学科の開設準備過程. *看護教育*, 35(10):773-777.
  - 小西美智子(1993). 医学部保健学科の看護教育課程—広島大学の場合. *看護研究*, 26(7):611-614.
  - 吉武香代子(1995). 看護婦を育てる—「東京慈恵会医科大学医学部看護学科」の基本理念. *Quality Nursing*, 1(1):15-20.
  - 山下文雄, 河合千恵子(1994). 久留米大学医学部看護学科. *看護教育*, 35(8):603.
  - 大西俊造(1994). 3専攻からなる保健学科新設の意義—大阪大学医学部保健学科看護学専攻の開設準備過程. *看護教育*, 35(10):778-783.
  - 丸山知子(1994). 積極的に学び, 創造的に行動できる基盤作り. *看護教育*, 35(10):737-740.
  - 深山智代(1993). 看護福祉学部における看護教育課程—北海道医療大学の場合. *看護研究*, 26(7):603-610.
  - 深山智代(1995). 看護教育と福祉教育の統合をめざして—「北海道医療大学看護福祉学部看護学科」カリキュラム編成の過程. *Quality Nursing*, 1(1):21-27.
  - 山根信子(1994). 杏林大学保健学部看護学科. *看護教育*, 35(8):608.

## The Baccalaureate Curriculum in Japanese Nursing Education — Part 1 —

KAZUMI ODA, AKIKO ISOMOTO, MASAKO INOUE\* and YUKIKO OKUI

*Department of Nursing, Faculty of Health and Welfare Science,  
Okayama Prefectural University, 111 Kuboki, Soja-shi, Okayama 719-1197, Japan*

*\*College of Nursing Art and Science, Hyogo, Graduate Course(Master) Student  
13-71 Kitaoji-cho, Akashi-shi, Hyogo 673-0021, Japan*

**Key words:** baccalaureate curriculum, nursing education, fundamental major subject